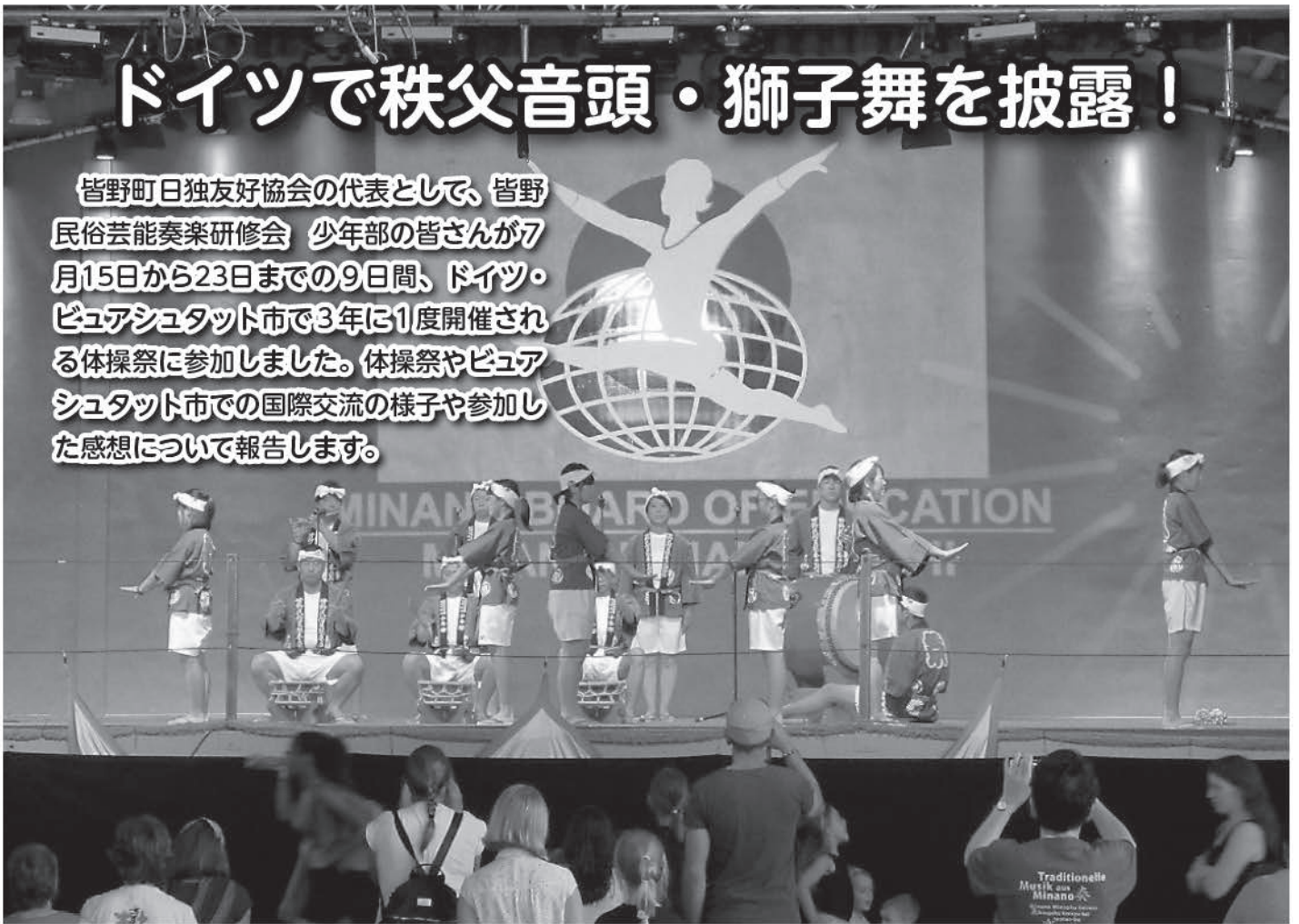


# GLOBAL EFFORTS Report

～皆野町のグローバルな取組～

## ドイツで秩父音頭・獅子舞を披露！

皆野町日独友好協会の代表として、皆野民俗芸能奏楽研修会 少年部の皆さんが7月15日から23日までの9日間、ドイツ・ピュアシュタット市で3年に1度開催される体操祭に参加しました。体操祭やピュアシュタット市での国際交流の様子や参加した感想について報告します。



中学1年 久米 七夢



私は、約一週間、ドイツのピュアシュタット市というところに行ってきました。私は、四年生の頃から、皆野民俗芸能奏楽研修会の郷土芸能クラブに所属しています。

今回、ドイツのピュアシュタット市で開催される体操祭で、太鼓を披露してきました。

初めての飛行機で、初めての海外、欧米の食べ物、自分の口に合うかなど、ワクワクする中、不安もありました。でも、現地の方が温かく迎えてくれて、嬉しかったです。

欧米の食事は、日本と違ってパンが多かったです。特にクロワッサンがおいしかったです。一週間、ほぼパンを食べていたので、日本に帰って来てから飲んだみそ汁と食べたご飯がおいしくて感動しました。太鼓では、大勢の人がこちらを見ていて、緊張しました。

ドイツだけでなくヨーロッパだったので、色々な国の人に、皆野の伝統芸能を発信できました。とても貴重な体験をさせてもらい

ました。また、リアクションもすごかったです。

現地の人、そして観客の人に笑顔になってもらえて、演奏した私もうれしくなりました。同じ世界でもこれだけ違うんだと思いました。

いつか、全世界の人に、秩父音頭が届いてほしいです。他にも、ドイツで買物をしたり、動物園に行ったりなど、色々な体験をしました。このことは、これからもずっと私の記憶に残ると思います。この体験を通して、太鼓を続けてよかったです。大人になっても続けたいです。

